

よう。

(司会) 本日はご苦労様です。今
回は身内だけの対談ですが、理事
長の退任を前にこれまでの同窓会
に親しみを持つていただければと
考え企画しました。ところで理事
長は就任されて何年になるのでし
ょう。

(村上) さて、とつさに言われて
も。十年ははるかに越えてしまつ
たと思いますが。

(阿部) 総会の記録を見ますと、
昭和五十五年の第五回総会で就任
されていらっしゃいますから今年
で八期十六年が終わります。

(村上) 名誉職としてならば有り
得るでしょうが、実務の担当とし

村上理事長の退任を前に



第28号

発行所

〒157 東京都世田谷区成城

1-13-1

武蔵工業大学付属中・高等学校内

電話 03-3416-4161

発行責任者 村上義雄
編集責任者 清水茂

では長すぎました。

(金野) たしかに長いという意味
ではそうかも知れませんが、同窓
会の場合、我々が理事長に『おん
ぶにだっこ』の状態で経過してき
ましたので。退任されるることは非
常に痛手です。

(村上) そう言われても困ります
が、理事長をやめても名誉職にさ
れるよりは一期生の理事として、
これからも皆さんと一緒に活動を
続けたいと思っています。

(阿部) 理事長が退任された後、
理事として認めるか、名譽理事長
に就任いただくかは「理事会」の檢

討事項ですが。(笑い)

(村上) 私のような年寄りが理
事会に出るのは迷惑かも知れませ
んが、大久保彦左衛門が一人くら
いいてもいいでしょう。(笑い)

(金野) "大久保彦左衛門"おおい
に歓迎するところです。

(村上) 同窓会は結成されてから
二十年経過しましたが、実はその
前に同窓会が存在したんですね(注・
昭和三十九・四十四年)。その同窓
会が理由はよく分かりませんが、

同窓会開催迫る!!

日時 平成8年11月8日(金)
午後7時00分より

場所 東急ゴールデンホール
(渋谷東急文化会館8F)

会費 3,000円

(懇親会パーティ代・
当日受付にて)

同期生・クラブ活動・同好会等、
昔懐しい仲間同士お互いに連絡を
取りあい『出会いの場』としてご
活用下さい。(遅刻可一いますぐに
手帳にご記録下さい。)

活動を停止してしまいました。その後、三期生を中心に同窓会を中心とした結成の活動が起り、理事長に一期生の小杉さん(現名営理事長)を据えて昭和五十一年九月にスタートしました。私は、時折総会などに顔を出したりしていたので、役員の皆さんに覚えられてしまつたのでしょうかね。再結成から四年後に小杉さんが退任することになりましたので、当時の理事会から就任の意向打診があったのですが、二年か四年のつもりで気軽に引き受けてしましました。

(阿部) 軽い気持ちが十六年につながってしまった訳ですね。しかし、就任直後の同窓会の会計状況は、悲惨でしたね。

(村上) 今では夢みたいです。何しろ同窓会には希望者のみの参加という時代でしたから、毎年の予算規模はおおむね二十万円くらいでしたかね。悲惨を通り越していましたよ。何かやろうとしても、その裏付けになるものが無い。我ながらよく続けてきましたね。

(阿部) 私も同窓会に関わったのは十四年前になります。最初の二年間は会計を担当させていただきました。私の記憶では二年目に会計の立場から理事会に「活動の結果、資金調達の道を模索するか。」と意見書を出しました。理事長から見れば生意気な小憎だったでしょうね。

(村上) 生意気な小憎はともかく、会計状況は確かにそうでしたね。『柏』を発行しようと郵送費を考えると印刷費が無い。そこで渋谷あたりの東急系の企業を回って広告の依頼をしましたね。それから「名簿」の作成も悲願でしたね。手元にあるのは各期の高校三年時のP.T.A.名簿のみで、各地で地名が変更されており、どんどん連絡がつかなくなつてくる。

(金野) 私は理事長の十六年の任期のうち初めの八年間は我慢の時期、後の八年間は飛躍の時期と考えています。この飛躍の土台になつたのが卒業生の「全員加入」が始まり会計状況が好転した結果なのですが、このために当時の熊谷校長に大変お世話になりました。

(村上) そうですね。熊谷校長は私が就任直後に校長になられました。そして学校を訪問するたびに励ましていただいたり、P.T.A.役員の方々との話の機会を作っていました。大変にお世話になりました。

(阿部) 私も苦難の八年間と飛躍の八年間と考えています。勿論、熊谷校長にお世話になつたことも大きかったのですが、理事長も苦難な時に二つの大きな決断をしましたね。一つは機関紙『柏』を今の体制にして年二回発行したこと。もう一つはリスクがあることを十分に理解したうえで「名簿」の作成を最初の一回だけを業者に依頼したことです。

(村上) その二つは理事の皆さんとが討議の結果結論を出したことで、私一人の決断ではないですよ。

(阿部) 勿論、理事会の討議の結果ですけれど、今だから言えます

が、この二つは提案した私にとつてました。

(金野) 確かにこの二つの活動が、同窓会にたいしての信頼感を大きくしたことは事実でしょうね。

(村上) ある意味では背水の陣でしたね。『柏』をもつて学校へ行き、先生方に一部ずつ配つて歩いたこともあります。それでも私はオミコシに乗つていただけです。

(司会) 私は理事になつて六年目ですから今の話を非常に興味深く聞いていたのですが、こちらへんで最近の話に話題を移してはいただけないでしようか。

(村上) ここ数年は比較的若い理事の皆さんが増えてくれています。それぞれの方が活躍してくれていますね。

(金野) 我々古手と若い理事の方



村上理事長

阿部事務局長



清水理事



金野副理事長

ても大きな博奕でしたよ。理事長には理解いただいておりましたが、もしどちらか一方でも失敗していれば今敗していれば今

《公示》同窓会総会開催について

昨年10月に『武蔵工業大学』の校名変更の意向が五島育英会から提示されました。満20年を迎えた同窓会にとっても大きな関心事でした。現時点では結論は出ておりませんが、母校の校名には私たちもおおいに関心をもつところです。

同窓会としては『会員諸氏に親しまれる同窓会』のテーマを実践すべく努力して参りました。これからも種々の企画を立案、実行していく所存です。

本年度の総会では役員の改選も行われます。会員諸氏に密着した同窓会とするため、万障お繋り合わせのうえご出席ください。

同窓会理事長 村上義雄

がかみ合っている感じがしますね。
(阿部) 私も若いつもりでしたが、最近は新しい理事の皆さんのお見聞き役の方に回っていますね。そして出していただく意見にいかに対応するかが仕事になつています。数年前までは言いたいことを言つていたような気がします。同窓会の活動を通してクリアしなければならなかつたハードルが幾つかありました、そのうちの名簿

の発行、機関紙『柏』の定期発行、活動の拡大等はできてきたと思います。しかし、もう一つのハードルが総会・懇親会への参加者の増加でしょう。

(村上) 活動が広がつてくる中で、若手の理事の皆さんのお活動には非常に感謝しています。確かに懇親会へより多くの方が参加してくれるので、そういえば先日、仕事を会つた方と話をしていたら工場の卒業生として、もう少し話をするとなんと高校の卒業生で阿部さんと同期生でしたよ。今年の総会には来てくれるよう頼んでお

使うことができましたからあと一歩のところまで来ているのではないか。

(金野) 理事が同期生を一人でも二人でも誘つて来れば倍増するんでしょうか。そういうれば先日、仕事で会つた方と話をしていたら工場の卒業生として、もう少し話をするとなんと高校の卒業生で阿部さんと同期生でしたよ。今年の総会には来てくれるよう頼んでお

きましたけれど。卒業生も一万人を越えていることですし、過去にも何人か同窓生と仕事をしたことあります。これからはその辺も

うまく使えるように研究してみたいですね。

(司会) 村上理事長が退任されるのは非常に残念ですが、新しい役員の皆さんに何を望まれますか。

(村上) 私が抜けるといつてもほかの皆さんに残られるのですから何も心配ありませんよ。あえて一言と言われば『焦らずに、ゆっくりと』ということではないでしょうか。

(金野) おっしゃるとおりですね。理事長の十六年間は我慢の末によく飛躍の時が来た。という感じでしようか。若手の皆さんどんどん活躍していく。それを我々年配者が見守りながら、ゆっくり進んでいくことでしょう。

(司会) 話はつきませんが、本日はご苦労様でした。非常に楽しい座談会でした。それとこれまでの苦しい時代を耐え、発展の時代に導いていただいた先輩の理事の皆さんに改めて感謝したいと思います。

記

1 日 時 平成8年11月8日(金)

午後6時30分より午後7時まで

2 場 所 東急ゴールデンホール

(渋谷東急文化会館内)

3 議 題

- 第一号議案 平成7年度(平成7年10月1日より平成8年9月30日まで)活動報告
- 第二号議案 平成7年度 会計報告、会計監査報告
- 第三号議案 平成8年度(平成8年10月1日より平成9年9月30日まで)活動計画
- 第四号議案 平成8年度 予算案
- 第五号議案 役員改選について(役員任期は2年)
- 第六号議案 その他

以上

懇親会開催について

記

1 日 時・場 所 総会終了後、同一場所

2 会 費 3,000円(飲み放題)

週末の夜に先生方、先輩、後輩と気楽にグラスを傾けてみるのはいかがですか。昨年の懇親会各場には前校長熊谷行夫先生、山本哲也事務部長、龍潤蒼龍先生、尾崎英昭先生、吉田鎮夫先生、元母校教員の須藤豊彦先生がご出席され会も盛り上がりいました。参加者数は100名近くとなり、会場内では楽しそうな笑い声が絶えませんでした。今年は是非、貴方様のご参加をお待ち申し上げます。

きましたけれど。卒業生も一万人を越えていることですし、過去にも何人か同窓生と仕事をしたことあります。これからはその辺も

うまく使えるように研究してみたいですね。

(司会) 村上理事長が退任されるのは非常に残念ですが、新しい役員の皆さんに何を望まれますか。

(村上) 私が抜けるといつてもほかの皆さんに残られるのですから何も心配ありませんよ。あえて一言と言われば『焦らずに、ゆっくりと』ということではないでしょうか。

(金野) おっしゃるとおりですね。理事長の十六年間は我慢の末によく飛躍の時が来た。という感じでしようか。若手の皆さんどんどん活躍していく。それを我々年配者が見守りながら、ゆっくり進んでいくことでしょう。

(司会) 話はつきませんが、本日はご苦労様でした。非常に楽しい座談会でした。それとこれまでの苦しい時代を耐え、発展の時代に導いていただいた先輩の理事の皆さんに改めて感謝したいと思います。

理事会報告

事務局長 阿部俊夫

一 校名変更問題について

きつかけは、昨年の第二十回総会・懇談会の席での母校の山本事務部長のご挨拶の内容でした。主旨としては『育英会が中心となつて大学の統合及びそれに伴う学校名変更が検討されている』というものでした。

理事会としては初耳の内容であり、議論となりましたが、正確な状況把握はありませんでした。武藏工大では工業会(同窓会)を中心で教職員も巻き込んだ『校名変更反対』の活動が起つていることは知りましたが、その具体的な内容・規模等は不明でした。

そこで、理事会として母校を訪問し、校長、事務部長に面会し、校名変更に関する組織、内容、進展状況などの質問をすると共に、理事会内の議論の中で校名変更に反対意見が多いことを伝えました。この中で校名決定の最終段階で同窓会(代表する理事会)に意見発表の場があることが分かりました。

同窓会としての意志をまとめるため、本年二月に発行した『柏』二十七号にその時点で知り得るすべての内容を会員の皆さんにお知らせすると共に意見を求めました。残念ながら紙面の都合で内容までは発表できませんが、皆さんの関心の高さを知ることができました。理事会とし

(理事会では現在も意見を求めております)また、武藏工業会から副理事長を招き、工業会としての対応を聞くなど同窓会としての方向決定の準備をして参りました。しかし、八月末現在、校名変更の作業自体が遅れしており、同窓会への意見聴取は、先になりそうとの見通しです。

二 村上理事長の退任について

卷頭のインタビュー記事にありますように、村上理事長が今総会を最後に理事長を退任されます。理事会の役員は総会の席で承認され決定しますが、総会に議案を提出する理事会の責任で役員の候補もそろえる必要があり(一般会員からの公募については別項参照)役員候補の選考を行っております。

三 柏苑祭への参加について

十月五・六日(土・日)に開催されます柏苑祭に今年も参加します。昨年は同窓会として初めての参加であり『学生時代に経験していることだから企画さえできれば』との思いでスタートしました。担当者全員が社会人であり準備時間の不足は予想以上でした。しかし、社会人の根強さを發揮し無事開場。予想以上の人数の同窓生も展示の見学や退職される先生方の最終講義?に参加され、成功裏に終わることができました。今年も担当委員を選出し、『在校生にも親しまれる同窓会』をテーマに企画立案中です。具体的な内容の準備はこれから始まります。お手伝いいただけの方、大歓迎です。

理事会役員選出のお知らせ

本会の規約では理事は学年委員から選出し、任期は二年、となっております。

理事会の互選により理事長以下の役員を選出する、役員は二年、となっております。

本年度の理事会の討議の中で『会員の中に理事(役員)としてご協力いただける方がいる場合、選出方法が不明ではないか』との意見がありました。理事会としてはこの意見を採用し、今回の選出から左記の内容により一般公募を採用いたします。

一 届け出方法 記

同窓会事務局(母校・小野寺先生)あてに理事(役員)への立候補の意向を自筆書類にて提出ください。(書式自由)

二 届け出の受付期間

公示日(本紙送付後)より総会期日十日前まで
届け出を受領した場合は原則として理事の候補として総会への提出名簿に入れさせていただきます。但し、理事長以下の役員を希望される場合は総会前に理事会を開催し、本人にも出席いただき話し合うこととします。

第37回『柏苑祭』に集う!!

昨年十月七日(土曜日)・八日(日曜日)に開催されました母校「柏苑祭」に当同窓会として初参加しました。

会場としてお借りした昨年春に竣工した増改築新校舎内教室では、母校の歴史並びに同窓会活動の歩み、第一期卒業から現在までの卒業アルバム等を展示しました。



昔は“のどか”で良かった
—母校と歩む同窓会の歴史を展示—

しい「授業」を再現していただきました。各先生方とも永年のご在職で当初から現在までの生徒の気質・授業の移り変り等、過去生徒の以外な質問等、時の立つのを忘れる様でした。(現役生徒の頃は“時計”ばかり気になっていたのですが?)

各先生方にはこの紙面を借りまして感謝申しあげる次第です。

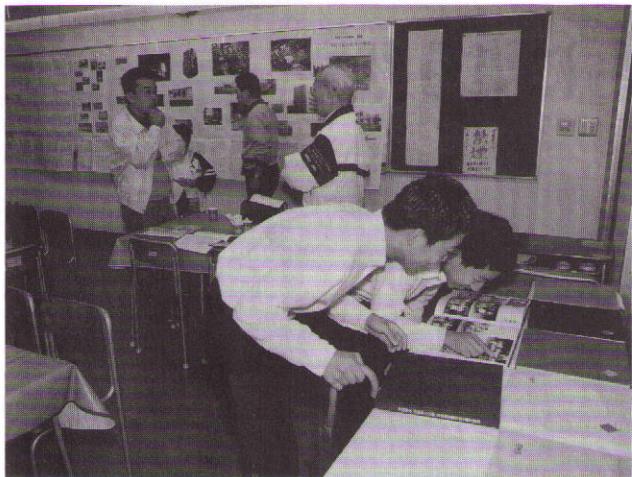
在校生も友達を連れて幾度となく出たり入つたり。現教師の若かりし日の顔写真を見て笑いころげたり、ちやかしたりとはしゃいでいました。

「柏」27号を見て訪れた卒業生との懐しい思い出話にも花が咲き、現先生方も“恐る・恐る”教室の中を覗き入場、楽しいひとときでした。

現役の先生でもあり同窓会の理事でおられる小野寺先生並びに母校のご協力・ご支援をいただき誠に充実したものとなりました。



久しぶりに先生の授業を聞いてあげよう 〈企画・同窓会〉



「アッお父さんだ」— 在校生も興味津々 —

また、同窓会柏苑祭実行委員会としても皆さん忙がしい仕事を持つ社会人でありながらも「母校」を慕う心と、童心に還れる心とで、前日夜遅くまで飾り付け・準備等、又、当日の接待をこなしておりました。

お陰様で今回の「柏苑祭」初参加も成功裏に終了し、最終日、片付け終了と同時にお手伝いいただいて残られた卒業生十数名とともに今度は成城学園駅前での「赤ちゃん」の下での『課外授業』へと足を運んだのでありました。|| 柏27号(前号)と一部記事重複 ||



神山校長とも歓談

同窓生の皆さん 第38回「柏苑祭」当日 母校に集まりましょう!!

好評だった昨年に引き継ぎ第38回柏苑祭に同窓会が参加することとなりました。

日時 平成8年10月5日(土)・6日(日)

場所 武藏工業大学付属中・高等学校
(成城学園前駅下車)
増・改築新校舎133教室



★同窓生と在校生の情報交換、同窓生の集うサロン。定時ごとにゲーム等を企画しております。豪華景品も用意。懐しい先生方とコーヒーを飲みながらの歓談も。

第38回 柏苑祭



1996.10.5(土)・6(日)
武藏工業大学付属中学校



卒業生の皆さんに感謝をこめて

国語科 龍 渕 蒼 龍

この八月で定年を迎え、ムサコーの仕事を終えることになりました。三十八年程の長い期間、生徒の皆さんには「負うた子に教えられる」とばかりでしたので、ここでとりあえずまとめてお礼を述べておきます。

特に、私自身が育った中学・高校時代とは学校教育の中身も外枠も急激に変動していったので、自分も生徒の皆さんも流されてしましました。

しかし、今までの私のそういう當みを省みて、結局本当に踏ん張りました。

今号では永きに亘り教鞭を執られ、今年度中に附属中・高等学校を退職された三名の先生方に在職中の思い出を綴つていただきました。卒業生の皆さんにおかれましても当時の情景が浮かばれることと思います。



定年退職にあたつて

社会科 福 与 晃

つたのは生徒の皆さん努力や協力を通じて成果が上がった、といふ点が真にはつきりしてきました。学校での育ち方には、同じコースで同じスピードを出しながら伸びていくには困難を伴いますが、励まし合い競い合う仲間たちが、ある時は横道にそれそうになつても、凄い力を養っていく姿を見るだけ、私はただ感服するだけになつていたようです。

同窓会は、私自身、田舎から出てきた高校時代の仲間の音信を聞き回ることから、旧友が集う同窓会作りをした体験があるので、私

なりにこだわりがありました。時々不謹な放言などで、この同窓会の役員の方々にもご迷惑をかけたことがあります。それも時効にしてくださるようお願いします。弟子は師匠を乗り越えて当然ですから、私のような支障株の人間は、

私よりも常に若い卒業生の皆さん々不謹な放言などで、この同窓会の後からついて行くのも当たり前です。

これから、足腰が動く間はよろず雑用のボランティア等で過ごしますので、単純な仕事なら皆さんからのご用命にも応ずる構えです。



小生は一九六十年四月本校に就職し、この八月七日、五島育英会のいわゆる「誕生日定年制」に基づき退職致しました。序でですがこの「誕生日定年制」なるものは、聞くところによると、東京の三百三十余ある私立高校の中でも本校と東横学園の他一校計三校しかないというシロモノで、五島育英会が未だ尾山台の工大に同居していた時、最初に担任した高校十一期生の諸君にとつては、「悪い教師であった」と思っています。学生時代殆ど勉強したことのなかつた経済のことは言え、「平均利潤率」についての質問に五分以上教壇で立往生したこととか、カベを蹴飛ばして「停学」処分になつた生徒の

立場に立つて担任として弁護してあげられなかつたこととか、工大進学問題で懇切な指導に欠けていたことだとか…。いま思い出しても恥じ入ることばかりです。当時の生徒諸君には申し訳ないことをしました。

就職した一九六十年はいわゆる「安保の年」で、小生もそのような雰囲気の中で本校に労働組合を作らべく努力し、いま教労組があるわけですが、授業と担任業務とこの二つについては小生なりに研究もし、努力も重ねたつもりです。

しかし、それらの結果については関わった卒業生諸君の評価に待つ他ありません。

この三月、最後の担任として四十三期生を送り出しましたが、彼らの父母有志が定年退職する小生のために「お祝いする会」を七月二十日、二子玉川の富士観音館で開いてくれました。自分で言うのもですが、まことに心のこもつたパーティで、『身に余る光栄』とはこのことかと思つた次第です。

さらに、ホヤホヤの卒業生たちからもそれぞれのグループごとに連

絡があつて時折り会食していますが、この九月一日と三日にもそれぞ別のグループと会食することになつています。有り難いことに「先生は交通費だけ持つて下さい」とも言われています。こうしてみると、教師としてスタートした三十数年前は内実教師とは言えなかつたので、それが段々に努力とキャリアを重ねる中で、最近ようやく生徒の心に触れることができるようになり、その意味ではやっと教師になりつつあるかな、

でもその頃にはもう定年で辞めなければならぬ年齢ではないかと思つた次第です。これでは、生徒を次代のりっぱな主権者に育成しようという教師の役割からして、遅きに失するわけで、若い先生方にはそのようにならないよう期待したいと思います。でも、今は終わり良ければすべて良し」といふ心境で、父兄たちが「定年退職をお祝いする会」を開いてくれたこと自体「教師冥利に尽きる」ものであり、有り難いことです。

今後は多少とも社会的意義のあることに関わらせていただくこと



「ムサコー」と共に



数学科 関 口 一 雄

この八月長い間お世話になりました学園を退職いたしました。今は大仕事を終えた充実感でいっぱいです。楽しかったこと、苦しかったこと、いずれもが懐かしい思い出として脳裏に浮ぶからです。この充実感は皆様方のご指導、ご協力があつたからだと感謝しております。

信工学科)に入学した年でした。当時は設備も十分なく、雨もりのする校舎、「どうしてこの大学に入学したのかな」と思ったこともあります。しかし、勉強するには周囲の環境は良く、設備がなくとも教授と学生の家族的な雰囲気の中での授業、理解出来ないところは、理解出来るまで、教授とともに学生同士とことん話し合い出来たことが、他大学には負けない自信がつき、今では武藏に入學して良かつたと思っております。恐らく付属高校が開設されたのが、昭和二十六年四月、私が武藏工大電気工学科第二分科(現在の電子通

一学年一クラス、理科の実験室もなく、クラブ活動は設備の関係で大学と一緒に、十分な活動も出来ない状態では将来性を案じた人もいたのではないか。どうか。

私は昭和三十一年四月、大学から高校の数学の教員として赴任、高校教員として、一步を踏み出したわけですが、専任教員が少ない状態では、校内外の行事は何でもやらねばならず、その一つに北海道への修学旅行の引率がありました。北海道は初めてであるのに、苦難の修学旅行となるのも知らず、心はずませて出発しました。当時上野・青森間は全線電化されておらず、急行の夜行列車で二十時間程かかり、座席は現在と比較にならぬ程悪く、身体は痛くなり一睡も出来ない状態。青森・函館間の連絡船は戦時中雅内沖で潜水艦に沈められ、終戦後引上げ修理した小さな船（徳寿丸）その上、海が荒れぎみで船酔いがひどく、忍耐力をテストしている感じさえしました。網走では、M君が町のチキンピラといざこざを起し、夕食をしていた食堂の周囲を三十名

程のチキンピラに囲まれ、M君を出せとすこまれ、相手を刺激しないようなだめながら、早々に全員をバスに乗せ立ち去ったこともありました。

生徒数を増やす手段として、都内本校周辺の中学校の野球部を招待、土曜・日曜に野球大会を開催多い年は三十校以上の参加が得られるまでに発展、これにより本校を知り入学した方もかなりいると思います。

木造校舎から鉄筋三階建の校舎になり、理工系ブームに乗り、入試の競争率が二十倍近くなり、採点が深夜におよびタクシーで帰宅したこともありました。反面、中学生の応募者が激減した時などは、東京・神奈川の小学校を生徒集めに奔走、学校によつては説明も聞いてもらえず、校長不在を理由で門前払いされたこともあります。

今で云う林間学校にある「集団訓練」と称し、三泊四日のバンガローでテントでキャンプを高校一年生に実施。なかでも奥塩原でのキャンプでは、中一日大雨にあい



原稿募集

編集委員会では、同窓生の皆様の近況・随筆等幅広く記事を募集

致しております。

卒業生の皆様方の存在をアピールする忌憚のない投稿をお待ち致しております。

問合せ 03-3595-0058
(十四期) 清水茂まで

テントの内側まで水びたし。風邪ひきが出ても付近に避難するところもなく最悪の状態になりつつあつたが、幸い四日目に雨もあがり、ことなきをえたこともあります。これが運が悪かったのか、計画のまことに云うべきか、反省させられたキャンプでした。しかし、そのとき参加した生徒が教師に協力、冷静に行動してくれたことは、良い生徒にめぐりあえたと誇りに思っています。

その他まだありますが、最後に、今は亡き菊池先生と菅平の

林間学校で中学生に菅平付近の風土・地質・気象、動植物の調査などをを行い、中学生としてかなりの成果をあげることが出来ました。この成果は菊池先生の緻密な計画があつたからで、本当に嬉しい先生を亡くしたと残念でなりません。入試の面接で本校の印象はとの間に對して「のびのびとした自由な学園」と答えてくれた受験生がかなりいました。この明るい学園こそ「ムサコ」です。ますます発展していく「ムサコ」を陰ながら応援したいと思います。

第5回武蔵クラシックゴルフコンペ開催される!!



開催日 平成8年7月21日(日曜日)
場所 佐野ゴルフクラブ(栃木県佐野市)

同窓会親睦ゴルフコンペも回を重ね第5回となり、益々充実して参りました。しかし今回は前号の「柏」27号で開催日・場所が未決定であったためか参加希望者が予定を取りにくかった様で人数が限定されてしまいました。

しかし先生方との交流も楽しく一日がアツという間に過ぎ去った様でした。

成績表

順位	競技者名	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット
優勝	岡田光雄(16期生)	43	40	83	12.0	71.0
準優勝	門道之	44	41	85	10.8	74.2
3位	梅田博夫(16期生)	51	52	103	28.8	74.2
4位	杉浦直樹(24期生)	43	44	87	10.8	76.2
5位	渡辺真己(24期生)	50	49	99	22.8	76.2
6位	加藤直樹(24期生)	46	45	91	14.4	76.6
7位	前島巖	51	46	97	19.2	77.8
8位	金岡秀和	47	53	100	21.6	78.4
9位	金井英三	46	53	99	20.4	78.6
10位	村上義雄(1期生)	59	45	104	25.2	78.8
11位	柿下良治	55	48	103	24.0	79.0
12位	岩本征義(7期生)	50	51	101	16.8	84.2
13位	宮原茂(24期生)	54	61	115	27.6	87.4
●ベストグロス	岡田光雄	●ド ラ コン	門道之(先生)、岡田光雄			
●ニアピン	門道之(先生)、前島巖(先生)、梅田博夫、岡田光雄					

《問い合わせ先》

—同窓会懇親ゴルフ実行委員長—梅田博夫(16期生) TEL.03-3392-6220

《ひとと/or》



杉浦直樹
(24期生)

今回初めて親睦コンペに参加させて頂きました24期の杉浦と申します。当日は大変な猛暑で、辛く厳しい1日でしたが、その辛さも吹き飛ぶ程の、楽しく、素晴らしいコンペでプレーできました事に、大変感謝しております。中高時代の思い出はもとより、先生方の学校時代では拝見できなかった人間性あふれるウエットな一面に遭遇させて頂いた事に『ほっと』しております。と云うより安心致した次第です。

私自身、ゴルフ歴は結構長いのですが…。今回は特別にものすごい緊張感の中での参加でした。何しろ20年ぶりの友人、先生方との再会ですし、元来口べた?な上、負けず嫌い?なものですから、好スコアで回りたい…何を話題にしよう…云々つまらない事を考えて前夜は、ぐっすりと眠れました。おかげさまで、いざ皆様にお逢いして私のくだらない先入観は、一瞬に吹き飛んでしまいました。まるで学生時代にタイムスリップしたかの様に『オイ、お前!』とはずむ、ハズム、、、良かった。

社会情勢も、良いのか、悪いのかおぼつかなく、どんよりとしているようですが、皆様と、ゴルフを通じ共に心身健康を維持し、何事においても正面より立ち向かい、チャレンジ精神を忘れず、切磋琢磨して進む事ができればと考えております。次回も参加させて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



左より、金岡、前島、門、金井、柿下の先生方

★なお、次回(第6回)懇親ゴルフ大会のご案内は、次号「柏」29号に掲載致します。

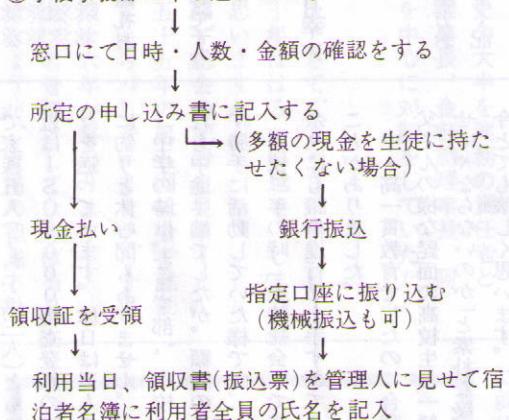
菅平「武藏山荘」利用について

菅平は根子岳と四阿山の裾野に展開するなだらかな高原です。緑の芝生、白樺の木陰、鈴蘭の香るこの高原は、早くより日本ダボスとして開かれた A 級スキー場として有名ですが、夏は北海道に似た気候であることから、ハイキング、避暑に利用されます。この山荘は法人傘下各学校の在校生の特別教育活動や研修の場として作られたものですが、上信越高原国立公園の一角を占めるこの菅平で健康で楽しい豊かな生活を満喫してもらうことが大きな願いなのです。

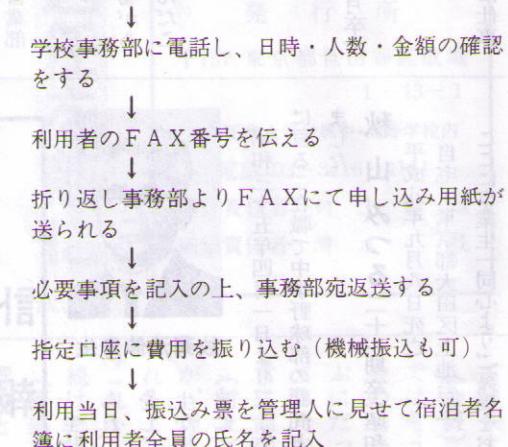


● 申し込み方法 以下申し込み方法ですがいずれも従来通り **利用 7 日前まで** にお願い致します。

① 学校事務部に申し込まれる方



② FAXを利用なさる場合



● FAX番号 03-3749-0265

● 口座番号 東京三菱銀行成城支店 132-0853971 (普通) 武藏山荘 神山光男

● いずれの申し込みについても利用料金の不足は山荘で精算されます。

● キャンセルは前日までに事務部に電話連絡してください。(休日の時は山荘へ直接)

● 武藏山荘TEL番号 0268-74-2237

● 料金 (いずれも 1 泊 2 食付き)

在校生、教職員	¥2,800
卒業生、在校生・卒業生・教職員の家族	¥3,500
傘下校の児童・生徒・学生・教職員、一般の児童	¥3,500
本校関係者	¥4,500
幼児 (3歳以上の未就学児)	¥1,500
キャンセル料 (1人1泊につき)	¥500

(その他従来通りシーツ代 ¥300、季節によっては暖房費 (1人1泊) ¥400がかかります。)

卒業生の皆様のご利用を心から歓迎致します。

交通・INFORMATION

★ JYD (信越本線)

上野 特急 2 時間 30 分 上田 バス 55 分 菅平高原

★マイカーで

● 東京 - (関越自動車道) - 藤岡 IC - (R254) - 富岡 - 安中 - (R18)

- 東部町 - 菅平口 - (R406) - 菅平高原 約 3 時間半

● 東京 - (関越自動車道) - 津川 IC - (R145) - 長野原 - (R144) -

菅平口 - (R406) - 菅平高原 約 3 時間半

● 東京 - (中央高速道) - 須玉 IC - (R141) - 小諸 - 東部町 - 菅平口

- (R406) - 菅平高原 約 4 時間



懐かしい顔

突然の連絡で無理矢理のインタビュー。誠に無礼お許し下さい。感謝申し上げます。

①卒業年度②最終学年時の担任③クラブ活動等です。



稻見 賢一

①十五期生(昭和四十三年三月卒)

②村岡 享先生

③フエンシング部

同期の皆様、ご無沙汰しております。並びに諸先生方お元気ですか。何年卒で担任がどなただったか、全く記憶にございません。失礼しました。

現在、私はソディックの本社に居ります。海外営業部付で良く海外へ出稼ぎに行っています。

思い出といえばフエンシング部のとき、「インターハイ」で福井を訪れたこと。近くに今のお会いの工場があり、生徒をやっていた頃来たんだなあ!と懐しんだことが有ります。

利光さん・中道 元気かアー?

吉谷 尚雄

①十九期生(昭和四十七年三月卒)

②別所範鎧先生

③なまず部・吹奏楽部

現在、姫路(三菱マテリアル・生野製作所)に仕事



秋山みつる二十一期卒(昭和四十九年三月卒)

昭和三十五年四月一日より三十六年三ヶ月間の永きに亘るご在職で中学野球部の顧問としてもご活躍されました。

昭和八年九月八日死亡
自宅・東京都大田区上池台三丁目十五号十一
ここに卒業生一同心よりご冥福をお祈り申し上げます。



故菊池伸先生

ト報

生物の教鞭をとつておられ、十年程前より教頭をしておられた菊池伸先生が平成八年六月二十八日にご逝去されました。

昨年の同窓会・総会は龍渕先生のご尽力により、十三期卒は秋田や静岡からの参加者も含め、十名近くが集まり大盛況であった。

今年も「柏苑祭」と「同窓会・総会」に同期生を誘つて参加しようと思つてゐる。

同窓生の皆さん一人でも多く参加されることを期待したい。

中沢 宏 十二期卒

で家族五人(うち子供三人)ともに赴任しています。最近はISO9000審査登録の推進活動で忙がしい日々を送っています。休日は三人の子供の世話をゴルフに釣りと休む間もありません。

中学の時は「なまず部」。高校の時は吹奏楽部。いつも中途半端でしたが、顧問の先生も滅多に顔を出さず勝手に活動していた様です。

高校二年の時「生徒総会」で議長をしていたとき、余りにも議事進行が上手すぎて?「リコール」されたことがあります。

父さんの様な毎年高校生と一緒に、「なぜマラソンをせにやならないのか」と素朴な疑問を抱いた時もあり、今とても懐しく思います。

中・高一貫教育でしたので合宿のとき、神様或は叔父さんとのお陰で、私と同様に同期生が一

生で良い成長を行つております。

高校二年の時「生徒総会」で議長をしていたとき、余りにも議事進行が上手すぎて?「リコール」されたことがあります。

父さんの様な毎年高校生と一緒に、「なぜマラソンをせにやならないのか」と素朴な疑問を抱いた時もあり、今とても懐しく思います。

中・高一貫教育でしたので合宿のとき、神様或は叔父さんとのお陰で、私と同様に同期生が一

生で良い成長を行つております。

高校二年の時「生徒総会」で議長をしていたとき、余りにも議事進行が上手すぎて?「リコール」されたことがあります。

父さんの様な毎年高校生と一緒に、「なぜマラソンをせにやならないのか」と素朴な疑問を抱いた時もあり、今とても懐しく思います。

中・高一貫教育でしたので合宿のとき、神様或は叔父さんとのお陰で、私と同様に同期生が一

生で良い成長を行つております。

高校二年の時「生徒総会」で議長をしていたとき、余りにも議事進行が上手すぎて?「リコール」されたことがあります。

父さんの様な毎年高校生と一緒に、「なぜマラソンをせにやならないのか」と素朴な疑問を抱いた時もあり、今とても懐しく思います。

編集後記

一昨年の同窓会・総会を知らせる機関紙に同期の小泉さんの記事が載っていた。

懐しさがつりり会費三千円という気軽さも手伝つて初めて同窓会・総会(パーティー)に参加した。

ところが期待した同期生の参加は「なし」。お会いしたい担任の先生も行事の関係で来られず期待は見事に裏切られた。

昨年は同窓会として初めて「柏苑祭」に参加し、私も実行委員長として参画し、今期退職される龍渕、福与、関口の各先生方の「お話」を聞いた。住専問題を題材に「昔も今も階級社会である」と結論付けられた福与先生は昔も今も変わらなかつた。

昨年の同窓会・総会は龍渕先生のご尽力により、十三期卒は秋田や静岡からの参加者も含め、十名近くが集まり大盛況であった。

今年も「柏苑祭」と「同窓会・総会」に同期生を誘つて参加しようと思つてゐる。

同窓生の皆さん一人でも多く参加されることを期待したい。